

# 平成13年 夏季一時金 要求・妥結状況調査（最終報告）

福岡県生活労働部労働局労働政策課では、県内に事業所をおき労働組合のある企業300社（従業員数300人以上の大手150社、300人未満の中小150社）を対象として、毎年、夏季一時金の要求・妥結状況調査を実施している。

調査対象企業のうち、回答のあった260社について集計を行った結果は次のとおりである。（集計は、平成13年12月14日現在）

## 1 平均要求額

（1）平均要求額は、628,017円となっている。

（2）要求額が最も高いのは、新聞放送業で1,226,901円、次いで非鉄金属製造業777,600円、化学製造業731,376円、金融業720,392円の順となっている。

逆に、最も低いのは、卸売・小売業で478,084円、木材家具製造業480,917円、次いでゴム製造業517,831円、輸送機器製造業549,846円の順となっている。

（3）規模別にみると、大手132社の平均要求額は663,122円となっている。一方、中小128社の平均要求額は591,815円となっている。

## 2 平均受結額

(1) 平均受結額は、522,603円、1.99か月分となっている。前年受結額522,526円と比べると、額では77円上回っており、率では0.01%の増となっている。

(2) 受結額が最も高いのは、新聞放送業で1,128,776円、次いで金融業704,617円、化学製造業675,077円、非鉄金属製造業653,105円の順となっている。

逆に、最も低いのは、木材家具製造業で342,868円、次いでゴム製造業368,539円、卸売・小売業424,142円、機械金属製造業426,283円の順となっている。

(3) 対前年増加率が最も高いのは、輸送機器製造業で10.39%、次いで電気機器製造業8.45%、非鉄金属製造業1.33%の順となっている。

逆に、最も低いのは、繊維衣服製造業で9.22%、次いで卸売・小売業4.85%、機械金属製造業4.46%の順となっている。

(4) 規模別にみると、大手132社の平均受結額は577,104円(2.07か月分)で、前年570,564円を6,540円上回っている。対前年増加率は1.15%の増である。

一方、中小128社の平均受結額は466,398円(1.90か月分)で、前年471,364円を4,966円下回っている。対前年増加率は1.05%の減である。

また受結額は、大手が中小を上回っており、その差は110,706円である。

(5) 地区別にみると、受結額は高い方から福岡、北九州、筑後、筑豊の順となっている。大手では福岡、北九州、筑豊、筑後の順となっているが、中小では筑後、福岡、北九州、筑豊の順となっている。

受結額を前年と比較すると、福岡では減少しており、北九州、筑後、筑豊では増加している。増加率の高い順に、北九州、筑豊、筑後、福岡の順となっている。

